

(書式例7) (通常用)

- 差押禁止債権の差押範囲変更申立書
- 差押命令取消申立書

(□にレを付したものの)

札幌地方裁判所民事第4部債権執行係 御中

令和 年 月 日

申立人 印
連絡先(Tel)

申立人(債務者)

相手方(債権者)

申立ての趣旨

上記当事者間の御庁令和 年(ル)第 号債権差押命令申立事件についてされた

- 債権差押命令に基づく給料(俸給)の差押え額は、毎月 円を限度とする。
- 債権差押命令に基づく給料(俸給)の差押債権の範囲を各 分の1に変更する。
- 債権差押命令は、これを取り消す。
-

との裁判を求める。

- また、上記裁判が効力を生ずるまでの間、第三債務者は、債権者に対し、支払その他の給付をしてはならない旨の決定を求める。

(添付書類)

- 世帯全員(同居者全員)の住民票 1通
- 収支状況一覧表 1通
- 給料及び賞与明細書写し(申立前3か月分) 1通
- 源泉徴収票写し 1通
- 預貯金通帳写し(1年分) 1通
- 申立書副本, 上記添付書類のコピー 1通

申立ての理由

1 申立人の家族構成は、別紙収支状況一覧表中の「家族の状況」記載のとおりである。

2 申立人は、過去3か月平均で1か月あたり、基本給 円諸手当 円を得ている。

この中から、所得税 円、住民税 円、社会保険料(共済組合掛金) 円を控除した残額は 円である。

申立人は1か月 円の を受給している。

申立人は過去6か月平均で1か月あたり 円の事業収入を得ている。

この中から必要経費を控除した実質手取り収入は 円である。

3 申立人の1か月の支出は、別紙収支状況一覧表のとおり 円である。

4 本件差押えが続行されることによって生ずる支障は、次のとおりである。

別紙のとおり

5 よって、本申立てに及ぶ。